

救急医療情報キットの使用法

救急医療情報キットとは、救急情報シートに緊急連絡先やかかりつけ医、その他救急時に必要な情報を記入し、保管しておくことで、迅速かつ適切な救急救命活動につなげるものです。

●救急医療情報キットの内容

- ①保管容器（筒）
- ②救急情報シート
- ③冷蔵庫用マグネット
- ④玄関用シール



●救急医療情報キットの使い方

- ①保管容器から救急情報シートを取り出し、本人の情報、緊急連絡先、かかりつけ医などを記入する。
- ②救急情報シートを保管容器に入れる。
以下のものを用意して一緒に入れておくとよい。
 - ・本人の写真
 - ・診察券の写し
 - ・お薬の説明書、薬剤状況提供書などの写し
- ③保管容器を冷蔵庫の扉の内側（ドアポケット）に立てて入れる。
- ④マグネットを冷蔵庫の扉の上部に貼る。
- ⑤シールを玄関ドアの内側の見えやすいところに貼る（ドアの外側には貼らないこと！）。



●119番通報～救急隊による救急活動時

具合が悪くなったときなど119番通報を受けて、救急隊が自宅に駆け付けて救急活動を行う際、玄関ドアの内側に貼ってあるシールを確認し、冷蔵庫内のキットを発見・シートの内容を確認することで、かかりつけ医または他の医療機関への連絡や情報伝達をスムーズに行うことができます。

※シール・マグネットが貼られている場合は、ご本人及びご家族の同意を得ることなく、救急隊が冷蔵庫を開けて、救急医療情報キットを取り出すことがあります。

※救急活動において搬送先の病院を決める際に、症状や状況によって救急情報シートに記載された「かかりつけ医」に搬送されない場合があります。